

F-REI 市町村座談会（浪江町）議事要旨

1. 日 時 令和5年8月9日(水) 16:00～17:10

2. 場 所 浪江町地域スポーツセンター

3. 議 事

(1) 開 会

(2) 挨拶

(3) F-REI の取組紹介

(4) 意見交換

<テーマ> F-REI との未来の連携について

(5) 閉 会

【主な発言内容】

- 今後はF-REIとも連携して町と復興を進めていきたい。
- 商工会では飲食業、小売業など頑張っているので、F-REIも利用してほしい。
- F-REIと連携し、地元企業と実証実験や実用化を進めていきたい。
- ひと、暮らし、仕事の3つの視点で政策を進めている。その中でも特にひとに力を入れている。
- 交流人口の増加や移住・定住の増加に向けて活動を行っている。
- F-REIには期待していることは、最先端の研究による新たな産業の創出や、それに紐づいて生まれる雇用や福祉教育の充実などである。浪江町の地場産業と連携することも期待している。
- F-REIと連携することで、効果的な発信や地域振興になると思う。
- 駅前開発は、F-REIが立地する西側も連動した一体的な開発が必要と考える。

- 今後来られる F-REI の研究者のご家族にも、女性部からおもてなしをしたい。
- 浪江町で消費できるものは浪江町で消費してほしい。
- F-REI の施設完成まで 7 年かかるとのことだが、完成を待たずとも F-REI について理解できるよう、浪江町民に気軽に入れるような情報発信する場所を作ってほしい。
- F-REI がどんなことをやるのか分からないので、住民に対する分かりやすい説明情報提供をしてもらえると有難い。
- F-REI の施設を駅と一体化・連携していく中で、住民が気軽に立ち寄れるような憩いの場や交流の場があると有難い。
- F-REI 施設の建設についても、一緒に何が出来るかはまだ理解できないが、前向きに協力をしていきたい。
- イノベーションコースト構想と F-REI の役割分担が分からないので知りたい。
- 相双地域は、人手不足が課題である。
- F-REI の研究を通して技術革新を起こしてもらい、効率的な操業技術や人手不足解消につながってほしい。共同実験や実証実験の形で F-REI の研究に協力したい。
- 研究だけでなく、教育にも力を入れてもらい、地域住民が学べる場、中高年が学びなおしできるような場を作ってほしい。
- F-REI から講師を招いて、F-REI の素晴らしい研究や魅力に直接触れ、子どもたちに夢を持ってもらえるような教育をしていきたい。
- 浪江町には高校がない、幼小中高さらには大学も出来ることを期待している。そういった学びがあつてこそ、F-REI のすばらしい思想と連携した学びが出来、世界に向け活躍できる人材が出来ることを期待したい。
- 職員や保護者対象の学びなおしができる場を提供してもらい、一緒に教育の力を高めていきたい。

- 震災時の浪江町のことをよく知らない子どもも多い。過去も未来も学べる場が必要である。
- F-REI の事業に子どもたちの発想や興味が組み込めると、子どもたちの発想が町に残り、町がより発展していくのではないか。
- 高等専門学校が出来るとよい、地域の子供たちから人材育成が出来ると良い。
- F-REI に期待することは、浪江町にて人の行き来が活発化することである。
- ホープツーリズムに F-REI を組み込み、人材育成につなげたい。
- F-REI の設立により、海外や国内の他地域からの人々と一緒に暮らすことになる。言語教育はもちろんだが、我々がこの地の歴史や文化を発信するとともに、相手の文化、歴史、宗教等を理解し、異文化共生のベースを作っていきたい。交流の場をつくっていきたいと考える。
- F-REI でどんな研究者はどんな研究をするのか知りたい。知ることで一緒に何ができるのかが見つかると思う。
- F-REI の研究が住民の生活にどのように繋がるのかが知りたい。知ることで住民と壁のない良い関係が築けると考える。
- 国内外のことを学べる場、国内外の方と交流できる場になってほしい。また、子どもたちの進路の選択が広がるような場になってほしい。